

令和4年度 学校図書館基本計画・評価シート

足立区立入谷南中学校 校長 遠藤 映悟

1 学校教育目標

- 1 自ら学ぶ人
- 2 豊かな心を持つ人
- 3 すこやかに生きる人

2 学校図書館の目標・ねらい 一身に付けさせたい資質・能力、意欲・態度一

- 1 学校図書館を活用し、読書に親しむ機会を設けて豊かな心を持つ生徒を育てる。
- 2 学校図書館の資料を活用し、主体的に学ぶ生徒を育てる。
- 3 学校図書館を活用し、豊かな語彙、正しい言葉遣いを身に付け、自分を表現できる生徒を育てる。
- 4 学校図書館を利用し、得た情報を活用して自らの課題を解決し、すこやかに生きる生徒を育てる。

3 学校図書館の現状（令和3年度末）

蔵書状況	① 蔵書数 11,068 冊（蔵書基準冊数 9,600 冊）／ 蔵書率 115.2%（前年度 116%）									
	② 新規購入図書 367 冊 ／ 廃棄図書 440 冊 ／ 増減冊数 73 冊									
分類	総記0類	哲学1類	歴史2類	社会3類	自然4類	技術5類	産業6類	芸術7類	言語8類	文学9類
蔵書構成割合	2.54%	3.08 %	10.11 %	8.50 %	9.32 %	4.64 %	2.63 %	8.47 %	7.54 %	43.16 %
*国基準	6%	3%	17%	10%	15%	6%	5%	8%	5%	25%
利活用の状況	① 開館時間：毎授業時、毎日昼休みから 17 時 15 分まで									
	② 生徒一人あたりの年間平均貸出冊数 14.1 冊（前年度：14.9 冊）									
	③ 学校図書館利用率 1871.9%（前々年度末：2192.2%）									

（令和4年度末）

蔵書状況	① 蔵書数 冊（蔵書基準冊数 冊）／ 蔵書率 %									
	② 新規購入図書 冊 ／ 廃棄図書 冊 ／ 増減冊数 冊									
分類	総記0類	哲学1類	歴史2類	社会3類	自然4類	技術5類	産業6類	芸術7類	言語8類	文学9類
蔵書構成割合										
*国基準	6%	5%	16%	10%	15%	6%	5%	8%	6%	23%
利活用の状況	① 開館時間：（前年度からの変更 あり・なし）									
	② 生徒一人あたりの年間平均貸出冊数 冊（前年度末： 冊）									
	③ 学校図書館利用率 %（前年度末： %）									

4 目標達成に向けた今年度の重点指導事項・具体的取り組み

第1学年	① 図書の借り方や扱い方等、正しく利用する態度を育てる。 ② 小学校からの読書習慣をさらに向上させ、読書に親しむ姿勢を育む。 ③ 課題について学校図書を活用して調べ、解決能力の育成を図る。									
今年度の成果目標					達成基準					
① 学校図書館のきまりや仕組みを理解し利用できる。 ② 昼休みや放課後の時間等、主体的に学校図書館を活用して読書や学習をすることができる。 ③ 図書館の本や新聞等を活用しながら調べ、課題に対して自分の考えをもつことができる。					① 第1学年の生徒一人あたりの年間貸出冊数平均 12 冊以上 （昨年平均 13.35 冊） ② 各教科と連携して図書室を利用した授業を年 5 回実施 ③ 調べる学習コンクール参加					
目標達成状況										
① ② ③										

第2学年	① 図書委員会の呼びかけ等で図書館にさらに興味を持ち利用する。 ② 様々な分野の図書に親しむ。 ③ 行事等に向けてインターネットの情報と学校図書の情報を整理していくことで情報活用能力の育成を図る。
-------------	--

今年度の成果目標	達成基準
① 図書委員の「本紹介」や学校図書館の掲示を見て様々な分野の本に興味を持ち主体的に学校図書館を利用することができる。 ② 三種類以上の分野の本を読み、読書カードに記録する。 ③ 課題に応じて図書やインターネットを使い分け、調べたことに対して自分の考えを広げ深めて、表現することができる。	① 第2学年の生徒一人あたりの年間貸出冊数平均 12 冊以上 (昨年平均 5.8 冊) ② 学年生徒の調べる学習コンクール参加 ③ 各教科と連携し図書室での授業を年 5 回以上実施

目標達成状況 <hr/> ① ② ③

第3学年	① 読書を通して読書が自分の生き方等に及ぼす効用について理解する。 ② 学校図書館での学習活動、調べ学習を通して、言語能力の向上を図るとともに、情報の信頼性の確かめ方を理解する。 ③ 学校図書館を目的に応じて主体的に利用し、視野を広げる。
-------------	---

今年度の成果目標	達成基準
① 主体的に学校図書館を活用して読書や学習をすることができる。 ② 課題に応じて本や新聞、インターネット等を活用し、考えを論理的に表現することができる。 ③ 新聞等で社会について知り、興味をもったことについて図書館で情報収集し、自分の考えを深めて意見交換ができる。	① 第3学年の生徒一人あたりの年間貸出冊数平均 12 冊以上 (昨年平均 9.36 冊) ② 学年生徒の調べる学習コンクール参加 ③ 各教科と連携し図書室での授業を年 5 回以上実施

目標達成状況 <hr/> ① ② ③

5 学校図書館環境整備に関する取組計画・方針及び成果・効果

取組計画・方針	成果・効果
【蔵書・配架等に関すること】 ・生徒の希望を取り入れるだけでなく幅広い分野の蔵書を揃え、生徒の興味関心を広く持たせる。 ・「3桁分類」への転換作業を順次進める。	
【学校図書館支援員との連携・協働】 ・生徒のさまざまな興味・関心に応える書籍を揃え、さらに多くの生徒が利用したいと思える図書館を運営する。 ・生徒が読書に興味・関心を持つために、図書委員を指導しクラスで本紹介を行う。 ・図書委員会で図書館利用の活性化するにはどうしたらよいか検討し実行する。 ・総合的な学習の時間に活用できる蔵書を揃え、情報提供と共に本の貸出を受ける。 ・キャリア教育に応えるため、職業・上級学校・資格取得のための蔵書を揃え、貸出を受ける。	

【その他】

- ・生徒作品を地域図書館に掲示するなど地域図書館と連携し、読書への興味関心を地域と共に高める。
- ・紛失、破損への注意喚起をし、それらが無くなるよう取り組む。
- ・中央図書館との「調べ学習用図書」の配送サービスの活用を検討する。

6 学校図書館運営全体に関する自己評価（成果・課題・改善の方向性等）**7 学校図書館の取り組みに対する評価・要望等（学校関係者から）**